

5月1日（水） 朝礼のお話し

鯉のぼりに込められた気持ち

さて、5月になると町のあちこちで鯉のぼりが見られるようになりましたね。5月5日のこどもの日には鯉のぼりを立てる習慣が日本にはあります。今日はこの鯉のぼりのお話しをしようと思います。この鯉のぼりにはどんな意味があるのでしょうか？

鯉のぼりにはそれぞれの家の子供が健康で元気に育って、立派な人になって欲しいと言う家族の気持ちが込められています。ではどんなところにこの気持ちがこめられているのでしょうか？

鯉のぼりと言えはまずは鯉の形をした吹き流しです。でも、これどうして他の魚じゃなくて鯉なのでしょう？池などで見る鯉はとてもゆったりと泳いでいるように見えますが、鯉はとても生命力の強い魚なんです。少々水が汚れていても生きられます。そしてお隣の中国に滝を昇った鯉が龍になると言う伝説があり、鯉はとても力強く生きているシンボルとされているおめでたい魚なんです。ですから、鯉には自分の子供にも鯉のように力強く、元気に育ち、立派な人になって欲しいと言う家族の願いが込められているんですね。

そして、鯉のぼりには一番上に五色の吹き流しをつけます。五色の色は昔、この世界を作っていると考えられていた5つの物、水、木、土、金、火を表していて、五色の吹き流しをつけることによって、魔除けの意味があるそうです。

鯉のぼりをつけるさおの先にはくるくる回る球がついていますね。これは「天球」と言うそうです。これは天にいる神様に「うちの子はここにいますよ！」と知らせるための物だそうです。神様に子供がいる場所を知らせることで神様に守っていただくという気持ちの表れですね。

そして最後にこの天球の下にある2つの車輪、これは「矢車」と言います。車輪の中にあるものは弓矢の矢についている羽根を表しています。これは子供たちを襲ってくるどんな悪いものでもこの矢で射貫いてやっつけてしまう、と言う気持ちの表れです。

鯉のぼりの習慣は日本では江戸時代ごろから始まったようです。でももっともっと昔から親が子供の元気な成長を願う気持ちには変わりありません。鯉のぼりにはそんな思いが一杯つまっているんですね。皆さんも町で鯉のぼりを見かけたら、今日のお話を思い出して見て下さい。

今日は鯉のぼりのお話しをしました。今日も最後まで一生懸命きいてくれてありがとう。